

2 スポーツによる持続可能で活力あるまちづくり

活 力

1 大阪マラソンの進化

- ① 大阪マラソンの魅力向上

2 国際的な競技大会等の開催

- ① 国際・全国レベルの大規模競技大会等の招致、開催支援
- ② 大規模競技大会開催を契機としたレガシーの形成

3 スポーツ資源を活かしたスポーツツーリズムの推進

- ① スポーツ資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
- ② 市内観光資源を活かしたスポーツツーリズムの展開
- ③ スポーツツーリズム推進のための情報発信

4 スポーツ施設の魅力向上

- ① 民間事業者と連携した市民サービスの向上
- ② スポーツ環境の整備

1 大阪マラソンの進化

① 大阪マラソンの魅力向上

大阪マラソンのさらなる魅力づくりに取り組み、
世界トップレベルの市民マラソンをめざします

● 大阪マラソンのさらなる進化・発展 参考指標

国内外から3万人を超えるランナーが参加する国内最大級の都市型市民マラソン「大阪マラソン」について、びわ湖毎日マラソンとの統合を機に、世界陸連のゴールドラベル*の認定をめざし、海外ランナーの一層の申込者増加に取り組むなど、世界トップレベルの市民マラソンとして進化、発展させていきます。

*世界陸連(WA:ワールドアスレティックス)によるWorld Athletics Label Road Racesの格付け。令和2(2020)年はプラチナ/ゴールド/シルバー/ブロンズの4ランク。

参考指標 大阪マラソンの申込者数



大阪マラソン

2 国際的な競技大会等の開催

1 国際・全国レベルの大規模競技大会等の招致、開催支援

国際レベル、全国レベルの大規模競技大会等の開催を通じて、大阪の魅力向上や、「みる」スポーツ、「する」スポーツの推進を図ります

● 大規模競技大会の招致、開催 参考指標

大規模競技施設の集積という強みを活かし、日本陸上選手権大会、大阪国際女子マラソン等を開催するほか、国際レベル・全国レベルの競技大会を招致し、トップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会の充実を図ります。

● スポーツ分野のMICE誘致の推進 新規

大阪・関西万博に向け、世界的に大阪が注目される中、スポーツ分野の国際会議等のMICE誘致を推進し、スポーツを通して人が訪れ、集い、交流を促進することで、都市の魅力向上を図ります。

● 大阪マラソンの開催

国内外から3万人を超えるランナーが参加する国内最大級の都市型市民マラソン「大阪マラソン」の開催とともに、多彩な関連イベントの開催等により、ランナー以外にも大阪市の魅力を発信し、地域や経済の活性化、観光施策の推進等につなげていきます。

● 大阪城トライアスロン大会の開催

大阪城トライアスロン大会は、都市部での開催とお濠を泳ぐという類を見ない画期的なトライアスロン大会であり、海外のエリート選手も多数参加する国際的な大規模競技大会であることから、スポーツとしてのトライアスロンをコンテンツとして、特別史跡である大阪城を活用することにより、スポーツと文化・歴史が融合した取り組みを世界に発信し、スポーツの振興、そして、大阪の都市魅力の向上につなげます。

● 大阪市長杯世界スーパージュニアテニス選手権大会の開催

大阪市長杯世界スーパージュニアテニス選手権大会は、グランドスラムと呼ばれる世界4大会のジュニア大会と同ランクで、世界で9大会しかなく、アジアで唯一の世界ジュニアワールドシリーズグレードAにランク付けされている世界最高峰のジュニアの大会です。

次世代の世界チャンピオンをめざす世界トップレベルのジュニア選手が大阪に集結し、選手たちを通して、大阪のホスピタリティの高さを世界に発信し世界に誇れるスポーツ推進都市をPRするとともに、市民にトップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会を提供します。

● ワールドマスターズゲームズ関西の開催

ワールドマスターズゲームズ関西の開催に向けた広報等の取り組みに参画し、「する」「ささえる」スポーツの推進を図ります。

● スポーツ施設の機能向上

FIFAワールドカップやFIVBワールドカップはじめ、世界陸上競技選手権大会、世界新体操選手権大会や東アジア競技大会といった国際的な競技大会会場となった長居陸上競技場や大阪市中央体育館等の大規模競技施設について、これまでの開催大会のレガシーを継承するとともに、各種国際競技大会の開催に求められる基準に対応できる施設機能の維持と向上を図ります。

■ 関西広域連合として取り組む内容〔関西広域スポーツ振興ビジョン〕

スポーツを通じた関西の活性化を推進するため、インバウンドの拡大が期待できる国際競技大会や事前合宿、他府県からの訪問者の拡大が期待できる全国大会等の関西各地への招致を支援し、各府県市の特性を生かせる広域的なスポーツイベントの開催を検討します。

参考指標 大規模競技大会の開催数（市主催・共催等）

2 大規模競技大会開催を契機としたレガシーの形成

東京2020大会以降の持続的なスポーツ機運の醸成に取り組み、
スポーツレガシーの形成をめざします

● レガシー継承につながるスポーツ機運醸成イベントの開催 参考指標

東京2020大会への高い興味関心が、恒常的なムーブメントとなるよう、大阪城トライアスロン大会などの多くの人が集まる国際的な大規模競技大会を活用し、オリンピック・パラリンピック日本代表選手等によるトークショーや障がい者スポーツの体験会等を実施し、レガシー継承のため次世代の育成やスポーツ機運につながる事業に取り組みます。

● オリンピック・パラリンピック等に出場したトップアスリート等による「夢・授業」の実施（再掲）

オリンピック・パラリンピック等に出場したアスリート等を大阪市立学校へ派遣し、講話や実技指導を通じて、子どもたちの「夢」や「目標」を育む「夢・授業」により、オリンピック・パラリンピックムーブメント教育を継続し、レガシーの形成をめざします。

● 国際パートナーシップ事業

国内外のナショナルチームの強化合宿等を大阪市に誘致し、公開練習や参加国選手と交流できる機会づくりを行い、海外とのスポーツ交流、市民交流等を進めます。

● ホストタウン交流事業（オーストラリア）

東京2020大会開催に向けてホストタウン登録したオーストラリアと市民の交流を継続し、スポーツ分野のみならず、文化や国際交流等の分野においても、次世代へのレガシーとして継承していきます。

■ 関西広域連合として取り組む内容〔関西広域スポーツ振興ビジョン〕

ワールドマスタースゲームズ関西の開催に向けて、各種の生涯スポーツ大会への参加を勧奨するため、ワールドマスタースゲームズ関西の開催を記念し制定した「関西スポーツの日」「関西スポーツ月間（5月）」を中心にスポーツイベント等を実施するほか、「関西マスタースゲームズ」を創設し、ワールドマスタースゲームズ関西の大会理念であるインクルーシブな視点を取り入れて開催する等、次世代へ引き継ぐレガシー大会として開催します。

参考指標 スポーツ機運醸成イベント参加者数



大阪市長杯世界スーパージュニアテニス選手権大会
(写真提供:関西テニス協会)
(場所:ITC靱テニスセンター)



ホストタウン交流事業
(市岡小学校での様子)



東京2020大会レガシー
スポーツ機運醸成イベント
(場所:てんしば)



3 スポーツ資源を活かしたスポーツツーリズムの推進

① スポーツ資源を活かしたスポーツツーリズムの推進

大阪のブランド力を活用して大規模競技大会等を開催し、
スポーツ資源を活かしたインバウンドのさらなる拡大につなげます

● 国際的な大規模競技大会を活かしたスポーツツーリズムの推進 参考指標

国内外からの参加者が集まる「大阪マラソン」「大阪城トライアスロン」「大阪市長杯世界スーパージュニアテニス選手権大会」や「ワールドマスターズゲームズ関西」等、大阪のブランド力を活用した大規模競技大会の開催にあわせて、本市の都市魅力の発信、観光振興につなげるための取り組みを進めます。

■ 関西広域連合として取り組む内容〔関西広域スポーツ振興ビジョン〕

関西の強みである各競技施設と、大規模スポーツイベント等の融合による広域的なスポーツツーリズムのプログラムを創出し、展開します。

参考指標 大阪マラソン海外申込者数

② 市内観光資源を活かしたスポーツツーリズムの展開

市内観光資源を活かしたスポーツツーリズムの体験機会を提供します

● サイクルスポーツの振興等に向けた観光資源の活用 参考指標

自転車ロードレースを含む「大阪城トライアスロン」の開催においては、大阪を代表する観光拠点である大阪城公園及びその周辺の公共空間を活用することで、スポーツと観光資源を組み合わせた取り組みを世界に発信し、サイクルスポーツの振興とスポーツツーリズムの推進を図ります。

■ 大阪府と連携して取り組む内容

大阪府や公益財団法人大阪観光局と連携して、大阪を訪れる国内外の観光客に対し、都市魅力の一つである大阪のスポーツを広く周知し、プロスポーツ競技日程の発信や、観光案内所での試合観戦広報、スポーツ観戦ガイドブックの制作・配布等、プロスポーツの試合観戦やスポーツ体験に向けた情報発信を進めます。

■ 関西広域連合として取り組む内容〔関西広域スポーツ振興ビジョン〕

2025年の大阪・関西万博の観光客が参加できる関西各地のスポーツプログラム等を活用したスポーツツーリズムプログラムの創出を検討します。

参考指標 大阪城トライアスロン大会観客数

3 スポーツツーリズム推進のための情報発信

スポーツツーリズムにつながる情報を広く発信します

● スポーツツーリズムの情報発信 新 規 参考指標

東京2020大会開催による盛り上がり为契机に、大阪を訪れる国内外の観光客に対し、都市魅力の一つである大阪のスポーツを広く周知するため、大阪府スポーツ情報ネットワークシステム「SPORTS OSAKA*」とスポーツ庁の「ここスポ」を活用し、大阪のスポーツチームの紹介や試合スケジュール情報のほか、スポーツを楽しめるスポット等のコンテンツ情報を掲載するなど、スポーツツーリズムにつながる情報発信に取り組みます。

*大阪府が運営するスポーツ情報を発信するサイト

参考指標 「ここスポ」へのスポーツ情報掲載数（再掲）

大阪城トライアスロン大会（場所：大阪城公園周辺一体）



スポーツ庁
「ここスポ」



大阪府スポーツ情報ネットワークシステム
「SPORTS OSAKA」

4 スポーツ施設の魅力向上

1 民間事業者と連携した市民サービスの向上

身近なスポーツ施設を活用した運動機会を提供します

● 指定管理者の独自のノウハウ活用による教室事業の実施 参考指標

いつでも誰でも、身近で気軽に健康づくりができる施設として、スポーツセンター・屋内プールを24区全てに整備しています。施設を有効活用するため、指定管理者独自のノウハウを活用し、年間通じて気軽に利用できるような開放DAY事業や各種水泳教室の開催等により、ひとりでも、家族や少人数グループでも、多様なライフスタイルに応じた生涯スポーツを支援します。

● スポーツ施設を活用した「オータム・チャレンジ・スポーツ」の開催

競技団体・各区スポーツ推進委員協議会・各区総合型地域スポーツクラブ・各施設指定管理者協力のもと、毎年9～11月に市内のスポーツ施設を活用して、誰もが参加でき、楽しめるスポーツ教室や大会を開催するとともに、スポーツの日に各区のスポーツセンター・プールの無料開放等を行う「オータム・チャレンジ・スポーツ」を開催します。

参考指標

市有施設の指定管理者による自主教室事業数

2 スポーツ環境の整備

スポーツ施設の改修・機能向上を進めます

● スポーツ施設の計画的な改修 参考指標

スポーツ施設の個別施設計画に基づき、施設の長寿命化を図るとともに、施設利用者に安全・安心な施設でのサービスを提供するため、点検等により各部位の状態を把握しながら、適時に修繕・更新を行い「予防保全」を計画的に実施します。

● スポーツ施設の機能向上（再掲）

FIFAワールドカップやFIVBワールドカップはじめ、世界陸上競技選手権大会、世界新体操選手権大会や東アジア競技大会といった国際的な競技大会会場となった長居陸上競技場や大阪市中央体育館等の大規模競技施設について、これまでの開催大会のレガシーを継承するとともに、各種国際競技大会の開催に求められる基準に対応できる施設機能の維持と向上を図ります。

また、各区のスポーツセンターや屋内プール等については、利用者アンケート等をもとに、サービス向上、管理運営の充実の視点からもチェックを行い、安心安全な施設利用に向けて、市民サービス・満足度の維持向上を図ります。

なお、スポーツ施設の設備向上を図るための施設のチェック・見直しにあたっては、「スポーツ施設の利用しやすさの向上に向けたセルフチェックリスト」（スポーツ庁）等を参考に行っていきます。

■ 福祉局と連携して取り組む内容〔大阪市障がい者支援計画〕

長居障がい者スポーツセンターについては、老朽化への対応と、障がい者スポーツの拠点施設としての役割を果たしていくため、建替えを進めていきます。

参考指標 個別施設計画に基づく施設改修の件数